



「連合奈良の日」9月 テーマ「フリーランス」



連合近畿ブロッカー齊集中労働相談ホットライン 9/11~12

9月5日「連合奈良の日」の街宣行動を近鉄五位堂駅で実施しました。

中和地協・笠谷卓見議長はじめ、連合奈良から吉村副事務局長、友好推薦議員の、西川繁和大和高田市議会議員、筒井寛香芝市議会議員に参加いただきました。

今月は「フリーランス」をテーマとしました。「フリーランス」とは企業や団体に帰属せず、独立して自己の技術を提供して働くことをいい、多様な業種が存在します。自由に自らの才能・技術を発揮できる反面、労働基準法などの労働者保護法の対象外です。しかし、フリーランスで働かされている方々には、働く環境や収入に課題がある人もいます。そして、会社に雇用されている人に比べて、ケガや病気になった時に収入が途絶えてしまい、生活に困窮してしまう方々がおられます。



仕事中や通勤中の事故などで、労働者がケガをした場合や、業務に起因する病気になった場合に、治療費や働けなくなった期間の賃金を補償してくれるのが労災保険です。会社に雇用されている人にとっては、当たり前の制度ですが、フリーランスの方々が労災保険に加入する場合、労災保険の特別加入団体を通じて、加入手続きを行います。私たち連合は、すべての働く仲間の「必ずそばにいる存在」となるべく、労災保険の特別加入団体「連合フリーランス労災保険センター」を設立し、フリーランスのための安心労災保険「フリホケ」への加入を呼びかけています。

連合近畿ブロックは、9月11日~12日に実施する一斉集中労働相談ホットラインを行います。

連合は「必ずそばにいる存在」として、声をあげることが難しい方や職場に相談窓口がない方など、一人で悩まずに連合労働相談窓口「0120-154-052」へご相談いただくことや、「はたらくみんなのためのウェブサイト」についても紹介し、みなさんのご相談にしっかりと寄り添うことをアピールしました。



笠谷議長

